

HPに各種データ 法令やCSR なども掲載へ

3月1日
本部会議室
出席委員等13人

2012年度の事業計画を審議した。検討事項として、①日遊協ホームページによる情報のアウトプット ②一般媒体へのアプローチ

③エッセー・絵手紙コンクールの活動と運用 ④広報誌編集とバックアップ——を挙げ、2グループに分かれて討議した。

日遊協ホームページの改訂については、事前にワーキンググループで話し合われた基本案として、横断的組織のホームページとして訪問者が業界全般の知識を得られる内容にすること、ターゲットは

会員を含めた業界関係者と業界に興味を持つ一般人に絞ること——などが報告された。

これに基づきグループ討議した中で、「他団体の調査データも含め、業界に関連する各種のデータを網羅」必要関係法令を網羅「CSR（企業の社会的責任）の発信」などのコンテンツ案が挙げられた。「会員に横断的組織に入会するメリットを感じてもらおうような内容が必要」との意見があった。

2月末で締め切られた「第2回パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクール」の応募状況が報告された。（6ページの理事会報告に関連記事）

経営改革委員会

3月13日
本部会議室
出席委員等23人

年度内にまとめる

「地震対応マニュアル」
3つのプロジェクトチーム（消費

税、店外オンライン、危機管理）

に分かれて審議した。消費税チームは、ホール5団体代表者会議（3月9日）が5団体の実務者で構成するワーキンググループ会議の設置を決めたことを受けて、日遊協としての対応を協議した。店外オンラインチームは、景品交換の新たな仕組みとして、関西の店舗でコンビニ商品を景品に採用した実験を行い、順調に推移している旨が報告された。危機管理チームから「企業・店舗のための地震対応マニュアル作成の手引き」が、年度内にまとまる旨が報告された。

社会貢献・環境対策委員会

3月6日
本部会議室
出席委員等11人

4チームの担当決める

共生の森、子供たちを呼ぶ
2012年度の事業計画である4つの分野について、それぞれの担当者を決めた。

【共生の森】平岡久明、相田幸一、西岡隆昌

【展示会】内田忠良、天野泰信、渡辺幸男、岡林克彦

【環境商材のモニタリング】趙顕洋、小笠原浩美、近藤博寿、湯川

和彦

【自然エネルギー再生利用（ソーラー）】岩戸弘二、石井浩樹、正木敬一

共生の森に関しては、7月28日（土）に子供たちを20〜30人集めて、カブト虫採取のイベントを行うことを決めた。予算としては50〜60万円を予定している。展示会は東京・秋葉原のベルサール秋葉原で5月末から6月初旬の間内で開くが、業者まかせにはせず、委員会を中心に経済面も考慮した作業を行うことにした。モニタリングチームは節電機械の紹介をホールの実データで行うことにした。

流通制度委員会

3月13日
本部会議室
出席委員等16人

正解低い設問の説明

事務局から遊技機取扱主任者講習・試験の状況報告があり、正解率が低い設問などについての説明が行われた。新年度の検討事項として、①取扱主任者制度の精査・見直し ②10年6月に施行された新・中古機流通制度についての改善点——などで意見を出し合った。



来年度の事業計画を審議した広報委員会

遊技機開発委員会

3月23日
本会議室
出席委員等13人

6月1日、2日秋葉原で「遊技機フェスタ」

社会貢献・環境対策委員会と共同で「遊技機フェスタ」として検討されていたイベントは、「もつと楽しく!! もつと遊べる!!」

「ばちんこ&パチスロフェスタ+環境フォーラム2012 in 東京」のタイトルで、6月1、2日の2日間、東京・外神田のベルサール秋葉原

での開催計画が固まり、委員会で報告された。

目的は、新たなコンセプトの試作機に関するファンや業界人の声を聞くとともに、遊技したことがない若年層にパチンコ・パチスロに触れる機会を提供する。省エネ・環境問題について、業界人に関心

新保安課長に古谷洋一氏

警察庁は3月23日付で、加藤達也生活安全局保安課長の宮崎県警本部長への転出に伴う後任の保安課長に古谷洋一愛知県警警務部長(写真)を発令した。

古谷氏は東京大学法学部卒。1986年警察庁入庁。警察庁国際



二課理事官、同国際一課理事官兼国際二課理事官、在韓日本大使館参事官、警察庁生活環境課知的財産権保護対策官兼生安局付、内閣参事官(内閣情報調査室)を経て、10年4月、愛知県警警務部長。愛知県出身。48歳。

警察庁は3月23日付で警視庁交通管理官に転出した川口晃生活安全局保安課長補佐の後任に、関川朋大愛知県警生活安全全部生活安全総務課サイバー犯罪対策室管理官を発令した。

を深めてもらうとともに一般の人たちにも業界の努力を知ってもらおう。とくに、若者が集う秋葉原で実施することで、遊技人口の減少傾向が続く業界として活路が見いだせるイベントにしたいとしている。

1日目は業界関係者、2日目は一般ファンを対象とし、入場無料。パチンコ・パチスロの試作機の試打エリア、市場にある機種の試打エリア、エコ島エリア、エコ関連機材・商材の展示エリア等を設ける。セミナー・講演、アンケート調査も行う。イベントの前後各1日を機材の搬入、搬出作業に充て、計4日間の日程とする。遊技機アワードも再び行う方向で検討する。

人材育成委員会

3月9日
本会議室
出席委員等6人

マネカレ関連で検討

第6回定例理事会に提案する12年度の事業計画案として、第6回遊技産業マネジメント・カレッジ・マネジメント・カレッジOB(実践編)、マネジメント・カレッジ女子、管理者養成講座、会員企業用の人材

APRIL

4月の行事予定

5日(木)	15:30~17:30	広報委員会
6日(金)	16:30~17:30	パチンコインターネット広告協議会
9日(月)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(東京・オーラム)
11日(水)	13:30~14:30	貯玉補償基金理事会
13日(金)	15:30~17:30	社会貢献・環境対策委員会
16日(月)	10:00~17:10	人材育成委員会
	14:00~	取扱主任者講習・試験(新規)(東京・都市センターホテル)
17日(火)	10:00~16:50	中古機流通協議会
18日(水)	13:30~	取扱主任者講習・試験(更新)(同)
19日(木)	14:00~	不正対策室会議
	15:00~17:00	九州支部総会(グランドハイアット福岡)
20日(金)	14:00~	遊技機開発委員会
23日(月)	15:00~17:00	近畿支部総会(KKRホテル大阪)
24日(火)	10:00~16:50	セキュリティ対策委員会
	14:30~	取扱主任者講習・試験(更新)(札幌ガーデンパレス)
26日(木)	13:30~14:30	連絡会議(グランドアーク半蔵門)
	15:00~17:00	本部・支部事務局連絡会
		事務所長会議

育成フォーラム、パチンコ産業合同説明会の6件が提示された。

このうち、第6回マネジメント・カレッジは定例理事会と連動する形で、9月27、28日に東京・晴海グランドホテルで開催することが決定している。他の5件について、実現性を含めて検討した。

店長・管理職能力開発講習・試験

5月広島、7月は3都市で

ホールの店長や店長候補者、さらにメーカー、販社等の遊技産業に働く管理職の方々を対象に、日遊協が関係団体の協力を得て行う「店長・管理職能力開発講習・試験」(旧・

店長等講習・試験)が、5月に広島、7月に福岡、札幌、東京で行われる。

おもな講義は、業界の現状と将来展望、管理能力、マーケティング戦略、コンプライアンス、風営法、業界人の誇りと使命——で、

ホール企業だけでなくメーカー、販社等の管理職の方々も業界の健全な経営に資する心構え・知識・技能等を身につけて、リーダーとして育ててもらえる内容となっている。

教授陣は日遊協会員企業の経営幹部、管理職で構成されている。日遊協会員以外の企業からの受講・受験も歓迎する。また、会場によっては人事担当者等オプザーバーの傍聴も許可されている。

〔広島会場〕 5月9日(水)
RCC文化センター

〔福岡会場〕 7月5日(木)
FFBホール

〔札幌会場〕 7月12日(木)
ホテルエルムサッポロ

〔東京会場〕 7月26日(木)
日遊協本部会議室

広島、福岡、東京会場は、午前10時開始、午後5時半終了。札幌会場は午前9時半開始、午後5時終了。受講・受験料は日遊協会員1万7200円、会員以外2万2450円。希望者は申込用紙に記入して日遊協事務局に申し込む。申込用紙は日遊協ホームページ、または「講習」チラシのFAX申込書で取り寄せられる。定員に達すると締め切る。

日遊協ホームページ
<http://www.nichiyukyo.or.jp/>

日遊協事務局
電話 03・3553・4333(代)

FAX 03・3553・4334
(7ページに関連記事)

セキュリティ対策委員会

QRデジタル方式を確認

機歴管理の新たな仕組み

第60回セキュリティ対策委員会

(委員長・山田久雄日遊協副会



機歴管理の新たな仕組みづくりを協議したセキュリティ対策委員会

長)は3月19日、日遊協本部会議室で開かれた。闇スロ・闇パチ業者への機械流出を防止するための機歴管理の新たな仕組みづくりとして、全商協、回胴遊商が使っているQRコードを利用して撤去遊技機を掌握するデジタル方式のシステムを使うことが確認された。

このシステムでは、ホールは機械を外した時点でQRの携帯端末に機械のデータを読ませ、全商協回胴遊商を通して最終的にメーカーに送ることで、中古市場で流通せず倉庫にプールされたりリサイ

クル選定業者などに渡って廃棄された機械のデータが正確に把握できる。

実現に向けては、全ホールが読み取り端末を購入し研修を受けなければならぬことから、ホール側の認識いかんにかかっている。さらにホール5団体間でも共通理解しておくべきとの意見があった。

不正対策室会議

広告宣伝で分析、検討

不正対策室会議(室長・伊東愼吾日遊協常務理事)は3月19日、日遊協本部会議室で開かれ、PSIO(不正対策情報機構)への入力状況が報告され、ゴト情報、不正情報について協議された。2月のオープンネット(不正情報)のうち業界関係者からは25件、一般ファンのパソコンから303件(昨年2

月比138件増)、携帯からは428件(同比17件減)で一般からの情報は計731件となった。

ゴトに関しては、パチスロの古い筐体へのゴトが相変わらず続いていることに対する対策等について話し合われた。不正情報では、広告宣伝に関する情報、分析がさまざまな角度から検討された。

東京都・関東支部総会

3月21日
ハユアットリジェンシー東京
出席委員150人

「業界の努力を社会が認識」

会員150人に庄司支部長力説

総会の冒頭、庄司孝輝支部長は、「昨年の大震災直後には、パチンコ業界に対して都知事発言やネットでのバッシング、節電要請などが立て続けにあった。そんな中、ホール5団体中心に団結し、関東ではほぼ100%の輪番休業を実施して目標を大きく上回る節電ができ、社会の中でのこの産業の位置付けが強く印象づけられた。被災地でのボランティア活動、業界からの約50億円の支援などもあり、この業界がいかに社会に接したかが認識されたのではないかと思っている」と挨拶した。

健全化への5つの措置を

深谷友尋日遊協会長は、「アゲインストの風に萎縮せず、むしろ天の声としてエネルギーに変え、活用していこう」とポジティブな対応を強調した。

警視庁保安課、小島幸雄理事官が吉森裕次保安課長の代理で「ば



冒頭挨拶する庄司支部長

ちんこ営業の現況と健全化営業」と題する行政講話を行った。小島理事官は健全化を推進する上で必要な措置として、①遊技機だけでなく広告宣伝等も含めた射幸性を抑える取り組み ②のめり込みを減少させていくことが業界への評価につながる ③不正改造の防止 ④賞品の買い取り・買い取らせの問題、等価交換規制等を含めた風営法の遵守 ⑤一昨年6月に新制度がスタートした中古機流通における適正な運営——の5点を挙げた。この後、支部活動報告、本部専門委員会報告があった。

第2部のセミナーでは3つの講演があった。(株)エンタテインメントビジネス総研副主任研究員、近藤博

寿氏が「カジノに見る遊技産業の課題と未来」、(株)環境経営戦略総研代表取締役社長、村井哲之氏が「電気代高騰時代を生き抜く知恵と行動」、日遊協専務理事、篠原弘志氏が「風営法における諸問題」と題してそれぞれ講演した。

第3部の懇親会では、庄司支部長、深谷会長のあいさつの後、来賓の原田實全日遊連理事長、里見治日電協理事長が祝辞を述べた。

風営法ワーキングチーム会議
設備や賞品などで審議

風営法改善要望事項を審議する日遊協風営法ワーキングチーム(WT)の第4回会合が3月29日、日遊協本部会議室で開かれ、法令等改正要望検討事項(たたき台)のうちホールの構造設備や賞品・遊技料金に関して審議した。

風営法WTは日遊協内での風営法改善の検討組織。篠原弘志専務理事を座長に、各支部から選抜された現場実務や法令の知識を有する担当者クラスと行政書士(アドバイザー)の計9人で構成し、ホール5団体風営法検討ワーキンググループ会議へ提案する検討材料を審議する。この日は8人が出席した。

インターネット広告協議会
2月は1050枚 掲載枚数が初の大台に

パチンコインターネット広告協議会(日遊協、凸版印刷(株)、IMC(株)で構成)が3月2日、日遊協本部会議室で開かれた。電子チラシのポータルサイト「Shuffoo!」(凸版印刷(株)運営)に掲載している「パチンコのチラシ power by Shuffoo!」の2月の掲載枚数は1050枚で、初めて1000枚の大台を超えた。警告は11件で、ガイドラインでのNG用語「最強」を使ったもの、背景を「激しい炎」にして災害を想起させるもの、版権ロゴの改変による著作権侵害などだった。

「Shuffoo!店舗別掲載実績・GISレポート」が3月1日からサービス開始となったことが報告された。店舗を中心とした商圏の特性(人口・年齢・男女別等)やユーザー数値・分布図などのデータをそろえている。電子チラシがどこでよく見られているかなど新聞折り込みチラシではできなかった市場分析ができ、戦略的な広告宣伝に活用できるとしている。

「統一修理報告書」で実施

計数機の誤差修理の結果を

日遊協は3月26日、遊技産業健全化推進機構の計数機検査における「修理報告書提出の具体的手順」について、会員に通知を発信した。警察庁がすでに要請（警察庁丁保発第2号 1月16日）本誌2月号掲載）した計数機検査において、遊技場自動サービス機工業会は修理報告に齟齬をきたさないよう「統一修理報告書」を作成し、警察庁の了

承を得て4月1日から実施した。健全化推進機構も3月28日、ホール関連5団体に対して、報告書の運用について通知した。日遊協は会員に、その内容について周知徹底するように求めている。

ホール5団体代表者会議 消費税でW/Gを設置

会議は春・秋定期開催へ

- 機構の検査の結果、修理要請書を受け取る際に、機構の検査員から「統一修理報告書」が併せて交付されます。
- 修理業者に依頼する際には、機構の検査の結果によるものである旨を付け加えてください。修理業者が来店した際には、機構から受け取った「統一修理報告書」を渡してください。
- 修理終了後、修理業者が確認テストを行いませんので、必ず店員が立会って正常稼働を確認の上、「統一修理報告書」下部の記載欄に立会った本人が署名・押印してください。
- 統一修理報告書は3枚複写となっており、それぞれ「警察署提出用」「ホール様控え」「メーカー持ち帰り用」となっており、上の2枚がホールに渡されます。
- 「統一修理報告書」の「警察署提出用」に、機構の修理要請書の写しを添えて、所轄の警察署に提出してください。
- 今回の要請では明示されておきませんが、機器自体の交換の場合は、「統一修理報告書」は記載事項がないので修理業者がそのまま回収することになり、警察署には、基本的には設備の変更届に修理要請書の写しを添付することになると思われます。

ホール5団体代表者会議（全日遊連、日遊協、同友会、余暇連、P.C.S.A.）が3月9日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで開かれ、当面の課題について意見を交換した。会議には原田實全日遊連理事長、深谷友尋日遊協会長、松田高志同友会代表理事、金海龍海余暇連副会長、加藤英則P.C.S.A代表理事など5団体の代表者・幹部26人が出席した。

消費税アップの対応について、全日遊連側から5団体の実務者で構成するワー

キンググループ会議を早ければ4月中にも設置し、業界のコンセンサスづくりの検討を始めた旨の提案があり、了承された。風営法の改善要望事項を審議しているホール5団体風営法検討会ワーキンググループ会議での、解釈運用基準の検討状況が報告された。

ホール5団体代表者会議の今後の仕組みとして、春・秋の年2回定期的に開催すること、それとは別に重要テーマが出てくれば随時開催することを確認した。

RSN第5回理事会

新理事に綾部征四郎氏

ばちんこ依存問題相談機関の리카バリーサポート・ネットワーク（RSN）は3月29日、第5回理事会を開き、西村直之代表理事をはじめ理事9名、監事2名が出席し、議案の審議ならびに報告・協議を行った。

理事交代に関する第1号議案が提出され、吉松俊男日電協理事に代わって綾部征四郎日電協理事が就任することを承認した。

活動状況の報告のあと、▽新しい監事については9月の総会までに21世紀会で協議する。▽4月に

認定NPO法人の申請を行い2年間はみなし認定されるが、その間に認定条件の整備を行う必要がある対策を講じる。▽新たに作るポスターの要件——などが話し合われた。

リサイクル推進委員会 20業者対象に再実査

第57回遊技機リサイクル推進委員会（座長・篠原弘志日遊協専務理事）は3月29日、日工組会議室で開かれた。セキュリティ対策委員会が進められている機歴管理に関する審議状況が報告された。リサイクル推進委の審議内容とも関連して来るため、今後注意深く見守っていくことになった。

遊技機リサイクル選定業者数が、事業廃止で選定書を返納するなどして、同日現在41社になったことが報告された。また、2002年（平成14年）までに選定業者になった20業者を現在の選定基準で実査し直すため、当面、東京、愛知、大阪、兵庫、岡山、広島の12業者を対象に、日遊協、日工組、日電協、全日遊連、全商協、回胴遊商の6団体が2団体ずつ組んで実査を分担することを確認した。

パチンコホールイノベーションフォーラム2012

「若者たちの心へ積極的に」深谷日遊協会長が基調講演

「パチンコホールの新たな価値創造とビジネスモデルの再構築」を旨とした「パチンコホールイノベーションフォーラム2012」(主催 総合ユニコム株式会社、月刊レジャー産業、パチンコ産業年鑑)が3月27日、東京国際フォーラムで開かれた。

その中の「セミナー2012」で、深谷友尋日遊協会長が冒頭、230人の聴衆に「パチンコ産業の未来戦略・革新と創造」と題して基調講演を行った。

深谷会長は3月19日に発表され

◀日遊協もブース展示で、6月の「遊技機フェスタ」を宣伝した

日遊協ファンアンケート調査を引用しながら「東日本大震災の昨年3月11日から国民の考え方が大きく変わった。企業は自己防衛のほかにもどう社会貢献に関わっていくかを問われている。日遊協はパチンコに対する批判も天の声と考えて、お客様のために、社会のためにどう役立っていくかを追求したい。それには現状を分析する必要がある。男性の過半数は18〜20歳に初めてホールに行くというデータと遊技人口が3000万人から1260万人まで減ったという



広い会場をいっぱいにした聴衆に「パチンコの未来」を熱く語った深谷会長

データを見れば、現在まで若い人たちへの経営努力を怠ってきたと言わざるを得ない。いま求められているのは若い心をつかむことだ。日遊協は6月に若い人たちに向けて「パチンコフェスタ」を開く。また悲観材

展示など大人気、5704人

セミナーは、ほかに多くのディスカッションや講演が行われ、環境問題、消費税、ホールの未来像、革新の視点、地域との共生、店舗戦略など多岐にわたって進行され、聴衆が広い会場を埋め尽くした。広告、ホール設備などに関するワークショップも別会場で行われた。並行して展不会場で開かれた「最新設備機器2012」には、遊技機周辺機器、さまざまなホール設備、環境・節電をPRした機器な

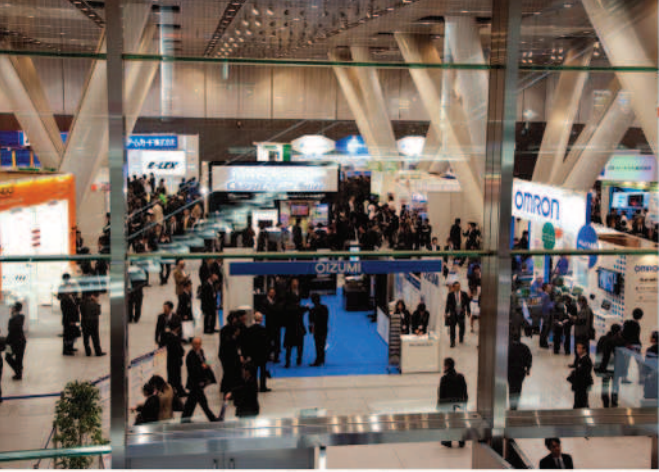
ど52社がぎやかにプレゼンテーションし、5704人の入場者を集めた。

推進機構が臨時総会

立入は2000店舗目標

一般社団法人遊技産業健全化推進機構(河上和雄代表理事)は3月9日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモンドで臨時総会を開き、12年度の事業計画を承認した。機構の趣旨に賛同して誓約書を提出したホールへの随時、無通知の立入検査は、全国2200店舗での実施を目標に設定した。推進機構は11年度、目標1800店舗に対して、最終的に2600店舗(目標比144%、前年比83%)前後の立入検査が可能と見込んでいる。12年度も悪質・巧妙化している遊技機及び計数機の不正改造に対処するため、時間をかけて検査を行っていきたいとしている。

機構を運営するための12年度の予算4億1000万円と、社員14団体(全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、自工会、補給組合、メダル工業会、同友会、余暇進、PCSA、認証協PSA)の負担が承認された。



◀展示会場は52のブースでにぎわった



また悲観材

原田さん晴れ舞台

360人が心から祝福

昨年の秋の褒章で藍綬褒章を授与された全日遊連の原田理事長の受章記念祝賀会が、3月13日、東京・元赤坂の明治記念館で開かれた。祝賀会にはパチンコ・パチスロ業界を始め、祝賀会発起人会代表の嶋下一郎衆議院議員など政界、警察、地元の新宿区など幅広い分野から約360人が駆けつけた。日遊協からは深谷友尋会長、大久保正博副会長が出席した。

藍綬褒章は「公衆の利益を興し成績著明なる者又は公同の事務に勤勉し労働顕著なる者」に授与されるもので、原田氏は永年に亘って暴力団を排除した健全な業界づくりに貢献したこと、地元の牛込署管内の防犯活動に尽力したことなど、公益への貢献活動が高く評価された。原田氏は夫人同伴で登場、記念品や花束を贈られ、「この受章に恥じないように、これからも地域の安心・安全と業界の発展のために尽していきたい」と述べた。



祝福を受ける原田夫妻(写真・全日遊連提供)

行政・警察人事

千葉県警人事(2月14日) 我孫子署長(風俗保安課長) 佐藤剛▽風俗保安課長(理事官兼総務課代理) 小泉勝基
福岡県警人事(2月28日) 総務部長(生安部長) 白石幸一▽生活安全部長(筑紫野署長) 湖上昌敏
熊本県警人事(3月5日) 退職(生安部長) 古川隆幸▽生活安全部長(宇城署長) 岡正憲▽警務部理事官兼総務課長(生環課長) 甲斐利美▽生活環境課長(留管課長) 北野陽祐
長野県警人事(3月8日) 生活安全部首席参事官兼生活安全企画課長(茅野署長) 長谷川康彦▽警察学校校長(首席参事官兼生安企画課長) 宮坂節勇

会員・業界消息

●住所変更
▼株式会社アクター
福岡県筑紫野市上古賀4・16・3
TEL092・9255・51000
FAX092・9255・52000
●4月9日
▼株式会社カセダ商会
神戸市長田区腕塚町1・1・19
●3月21日
▼熊本県遊技業協同組合
熊本市中央区水前寺3・4・4
(住居表示変更のため)
●4月1日
▼有限会社松原商会
熊本市中央区水前寺6・41・10
(政令指定都市移行に伴う変更)
●4月1日
●営業所開設
▼サミー株式会社 熊本営業所
熊本市西区春日6・4・30
TEL096・3511・41555
FAX096・3511・41556

DATASPO T

パチスロは15か月連続で前年同月比増

全日遊連は3月14日、店舗数、遊技機台数の2012年2月分を発表した。店舗数は前月に比べると29店減って1万1304店となり、3か月連続で増えていたのが、またマイナスに陥った。昨年1月と比べるとこの1年間185店減少で低落傾向は依然として続いている。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス6万8180台(昨年2月292万5109台)パチスロ機はプラス8万1925台(昨年2月128万2441台)となった。パチスロが平成22年12月から15か月に渡って前年同月を上回っているのが心強い。パチンコは、前年同月比で下降線に入ってから1年以上経つ。<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	215	-1
東北	502	0
東京	486	-1
関東	1411	+3
中部	418	+1
近畿	755	+5
中国	261	+1
四国	122	0
九州	587	+1
全国計	4757	+9

(2012年2月29日現在)

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成24年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	11,333	30	21	138(11)	2,869,178	1,360,139	156	4,229,473
2月	11,304	7	35	137(14)	2,856,929	1,364,366	156	4,221,451

(大分営業所は閉鎖)
●3月26日
●営業所移転
▼サミー株式会社 京都営業所
京都市伏見区竹田北三ツ杭町36
●4月2日
●社名変更
▼株式会社恵成
(旧社名・東大産業株式会社)
●3月14日
●新規入会(正会員)
▼株式会社松山商事
代表者・松山繁守
宮城県栗原市築館字留場遠ノ木85
▼株式会社海光商事
代表者・高山光史
宮城県気仙沼市田中前3・8・6
●3月15日
●新規入会(賛助会員)
▼株式会社アーバンプロジェクト
代表者・三科啓児
神戸市中央区海岸通1・2・1
SPGビル
●3月15日